

境木保育園		29年度	8月指導計画（5歳児）	ぶどう組	園長印	担任印
子どもの様子			ねらい	行事	自己評価	
プールあそびを毎日楽しみにしている。ホウトクに通っている子どもが多くいるためか水に慣れており毎回全身で楽しんでいる姿がある。夏まつりではお家の方におみこしや踊りを披露して満足感、達成感を味わえた。星空パーティーは特別感を味わいながら友だちと楽しみながら参加していた。			・夏を健康的に過ごすための習慣を身に付ける。 ・自分の力を発揮し、夏のあそびを存分に楽しむ。 ・友だちと思いを伝えたり受け止めたりしながら、あそび楽しさを味わう。 ・天候の変化に気づき、興味や関心を持つ。	・誕生会・身体測定・避難訓練 ・リズム・カレーパーティー ・ボディペインティング・色水 ・泡あそび	動と静のメリハリをつけながら夏を健康的に過ごせるように配慮した。夏のあそびを開放感を味わいながら行えるように準備を整えた。お化け屋敷作りの活動を通して自分を発揮したり友だちとのかかわりを深めた。	
内容			環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り	
生命・情緒 健康・人間関係 養護・教育	環境・言語・表現	・水分補給をしたり、休息を取ったりしながら、夏を健康的に楽しく過ごせるように働きかけていく。 ・夏を健康に過ごすために必要な習慣がわかり、見通しをもち自信をもって生活できるように見守っていく。 ・プールあそびや水あそびを十分に楽しむ。 ・自分の目当てに向かって挑戦し、達成した喜びを味わう。 ・プールあそびの約束をしっかり守ってあそぶ。 ・いろいろな素材を使って試したり工夫したりしてあそぶ。 ・友だちと声を掛けあってあそびを進めていく。 ・相手の気持ちや考えに気づきかわろうとする。 ・友だちの経験した話に興味を持って聞く。 ・自分の話を聞いてもらう楽しさを味わう。 ・年下の友だちとかかわり、やさしさやいたわりの気持ちを持つ。 ・動植物の世話を通して、生態を理解し、命の大切さに気づく。 ・色や形、数量に気づき、興味や関心を持つ。 ・夕立ち、にじ、雷、入道雲などの自然現象に気づき、友だちと話したり、調べたりする。 ・絵本や紙芝居を楽しみ、さまざまな思いを持つ。 ・リズムあそびやうんどうあそびを楽しむ中で友だちと動きを考えたり、工夫したりする。	・いつでも水分補給や休息をとれる環境を整える。 ・夏の健康に必要な習慣について話をする機会を作っていく。 ・プールで安全にあそべるように準備する。また、さまざまあそびができるように工夫していく。 ・プール以外の夏ならではのあそびも提供していく。（色水・ボディペインティング・泡あそび・洗濯ごっこなど） ・年下の友だちとかかわる機会をもって行くようにする。 ・カブトムシの世話をする中で、生態に気づいたり、命について考える機会をもって行く。 ・疑問に思ったこと不思議に思ったことなど図鑑などで調べられるようにしておく。 ・ホールを利用し、色々なうんどうあそびをする機会をもって行く。	・あそんだ後は、子どもの体調を確認し、十分に休息を取って生活リズムを整えていけるようにする。 ・日陰であそべるような工夫をする。また、のんびりとした時間を大切に作る。 ・活動の合間に水分補給を忘れずにして夏を健康に過ごせるようにする。 ・水の危険性やルールを守ってあそぶ大切さを知らせ、プールでのあそびが安全にできるようにしていく。 ・プールでは一人ひとりの取り組みを把握し、それぞれが意欲的にあそべるように援助していく。 ・友だちと試したり考えたりする中で自分の気持ちを出す、または抑えるなどして話し合っている過程を大切にじっくりと見守っていく。 ・あそびの中で友だちとの意見の行き違い、思いとおりにならない悔しさを受け止めながらも、相手の気持ちを伝えて仲立ちをしていく。 ・あそびの中で、友だちと相談したり、一緒に工夫する体験をしたりして、友だち関係が広がるようにする。 ・生活やあそびの中で色や形、数量などに触れる機会を重ね、興味や関心が広がるようにする。 ・雲や夕立、にじなどの夏の自然現象は、機会を捉え、子どもと一緒に調べて、自然の不思議さに興味や関心がもてるようにしていく。	・いつでも水分補給が出来るように配慮する。また、活動のメリハリをつけ健康的に過ごせるようにした。 ・天候不順が続きプールあそびの機会が少なくなってしまい残念であった。プールの時には水の危険なことなど自ら意識できるようにかかわった。 ・夏ならではのあそびを多く取り入れ、開放感を味わいながら大胆にあそびを進める中で友だち同士で試したり、繰り返し行う中であそびを深めることができていた。また、友だち同士のかかわりを深めていた。 ・友だちとのトラブルでは周りにいる友だちが仲介に入って子ども同士で解決する姿見られるようになる。見守りながら必要な時には保育士が仲介に入るようにする。 ・朝の人数う調べやカレンダー作りを通して数字や数量などに興味を深めてきている。また、キュウリやナスの収穫を毎日行うことでその変化を観察し色や形への興味を深めることができた。	
		・食事の仕方を知り、自分たちで場を整える。 ・体に必要な食品の種類や動きについて関心をもつ。	・衛生面に配慮していく。 ・絵本や図鑑を準備して興味を持てるようにする。	・当番活動の配膳など、仕方を伝え、自分たちでやろうとしている姿を認め自信をもってできるようにしていく。	・毎日の当番活動を通して、積極的に配膳を子どもたちに任せることにより自信を持って来ている。	
				地域とのかかわり	家庭との連携	
				・地域の方への挨拶	・子どもの体調について伝え合っている。 ・プール、泥んこあそび、シャワータオルなど準備忘れがないようお願いしていく。	
				時間外保育		
				・ゆったりと安心して過ごせる環境を整えていく。		